



おかやまミルクエッセンス



2022

12

月号

VOL.246

スゴい牛乳

令和4年12月14日発行

発行：おかやま乳業協同組合

責任者：小橋 孝史

〒700-0001 岡山県岡山市川崎34-1

☎(0869)26-1101



組合だより

JA

おかわ

岡田 穂積氏に 旭日双光章 叙勲伝達される

令和4年度秋の叙勲において、旭日双光章を受章された岡田穂積氏（前おからく組合長）の叙勲伝達が、11月21日に行われ、おかやま酪農協西大寺事務所にて、岡山県畜産課藤原課長、佐野副参事が出向かれ、旭日双光章の勲章と賞状が授与されました。

岡田氏は、岡山市南区小串地区で自給飼料を基盤とした酪農経営を行い、児島地域の酪農家のリーダーとして活躍され、平成10年には旭東酪

農理事に就任されました。平成14年県内単一の酪農専門農協である「おかやま酪農業協同組合」設立への移行を推進し、地元調整及び方向性協議では、円滑な組織再編に大きな役割を果たされました。設立後も理事に就かれ、平成24年におかやま酪農業協同組合専務、平成30年には組合長に就任され、改正畜安法への対応や組合の合理化・機能強化などの取り組みを進められました。令和3年6月に退任されるまでの19年間にわ



旭日双光章を受章された岡田穂積氏

たり組合運営、組合員の経営安定に尽力されました。

平成30年から、中国生乳販売は、中国生乳販売農業協同組合連合会の会長の重責を担い、令和2年4月から中国5県の乳価テーブルを統一し、税制改正に対応した乳代精算システムの開発・運用することで会員負担の軽減を図られ、また乳代計算の基礎となる乳成分、乳質の検査結果の配信システムの構築など多大な功績を残されました。

岡田氏からは、「酪農を続けて50年の節目を迎えるに中、今秋の叙勲受賞において光栄に思うとともに、皆様方の長年にわたる、ご指導、ご支援の賜と深く感謝申し上げます。次第です。酪農情勢は、輸入粗飼料価格の高騰、エネルギー価格・生産資材高騰と米国の利上げが為替市場において大きく円安に推移したこと等が酪農業に未曾有の窮状をもたらしました。結果、個々の努力ではこの難



賞状の授与

局を打破することは非常に厳しい状況にあると思われれます。組合員また、指定団体はその実態を十分把握し生産者の経営継続、特に次世代を担う層のためにも全力を傾注されることを願うところです。最後になりましたが、今回の叙勲受章に対し、祝意とご芳情を頂戴いたしました皆様にと心よりお礼申し上げます」と話されました。

受章をお祝い申し上げますとともに、これからもますますのご活躍を期待いたします。

岡山県農林水産委員への緊急要請活動について

酪農情勢は新型コロナウイルスの蔓延、ウクライナ情勢等により、飼料、資材、燃料等の高騰、高止まりが継続となり、子牛等の副産物価格は大幅に下落と急速に悪化しています。11月1日から飲用等向け10円/kgの値上げとなりましたが、酪農家の窮状は続いています。そのことから、令和5年度岡山県予算編成に關する各種団体個別懇談会に先立ち、岡山県酪農政治連盟山本一司副委員長のご尽力により、県議会議員の神宝謙一氏に仲介をお願いし、岡山県農林水産委員会所属の県議会議員の皆様へ酪農情勢報告および陳情の機会を得ることとなりました。

そこで、岡山県酪農政治連盟では、

1. 高騰・高止まりした飼料・資材への支援として、
- ・ 高騰する配合飼料価格に対する支援
- ・ 輸入粗飼料に依存するしかない酪農経営に対する支援
- ・ 酪農経営改善・需給均衡対策に係る追加支援

2. 牛乳・乳製品需要の拡大施策として、
- ・ 高等学校生徒に牛乳を供給する仕組みの構築
- ・ 医療従事者及び生活困窮者への牛

乳・乳製品の支援

を要請することとし、令和4年11月8日におからくから、長恒代表理事組合長、檜尾代表理事専務、松崎理事、小橋敏行さん、安富由美子さん、岡山県酪農政治連盟から、三宅委員長、山本副委員長、野住副委員長、小村副委員長、事務局と総勢13名が、岡山県議会を訪問し、農林水産委員会委員長 福島恭子氏、副委員長 小倉博氏、河本勉氏、神宝謙一氏、加藤浩久氏、大橋和明氏と懇談会を行いました。

懇談の席では、福島委員長から「皆さんの話を聞き県政、農政に役立てたい」とのご挨拶がありました。三宅委員長からは、この席を設けていただいたお礼を述べられ、国・県からの支援をいただいているが、自助努力の限界を超えており、乳価再値上げができるまでの支援を要請しました。また、長恒組合長からは4月から乳価交渉を行い、15円/kgを要求してきたが、11月1日から10円/kgに留まった。今後も生産資材の高騰により30円/kgの値上げがないと酪農経営が継続できないと述べられました。

事務局が今回の要請内容を報告すると、委員会の皆様は、酪農情勢の

厳しさは認識されており、執行部に つないでよくと理解を得ることができました。

飼料価格安定基金はあるが、財源が枯渇しており、国からの支援が頼りである。円安、中国の旺盛な買い付けにより、今後高止まりするのでは。自給飼料も作ってはいるが十分な量は確保できていない。来秋の自給飼料が生産できるまでの期間を支援でつないでいただきたい。購入粗飼料依存型の農家では、自給飼料給与に必要な機材もないため、コントラクタ組織の充実、自給飼料流通についての協力もあわせて要請いたしました。

また、女性部・青年部の代表者から、「地元中学生の職場体験で酪農のやりがいを伝えている。酪農に関わってくれている人や希望を持ってやっている人の後押しをしたいが、今の状況では難しい。急激な変化に追いつけない。酪農家は急速に減少するのではないか。酪農には多くの企業や人が関わっている。その人たちのことも考えなければ」と述べられました。

神宝氏からは「飼料を国内で生産することを考えないと、今後安価な飼料を輸入することはできないので

はないか。理想的な農業の再構築、灌漑排水も進めていく。農業の窮状を説明しながら、県内の農業を変えていきたい」と述べられました。福島委員長からも「今後もこのような意見交換会の場を持ちたい」とのご感想をいただき、酪農への理解を深めていただいたと感じています。県酪農政治連盟では、今後とも国、県等への要請活動を通じ、酪農窮状を訴え酪農情勢の改善に取り組んでまいります。



おかやまミルクフェア2022を開催

11月3日（文化の日）、岡山県酪農乳業協会・おかやま酪農協同組合主催による「おかやまミルクフェア2022」が岡山市南区の浦安総合公園で開催されました。

秋晴れの好天に恵まれ、また3年ぶりの開催ということもあり、多くのご家族連れにご来場いただきました。（来場者数18,000人主催者発表）

オープニングセレモニーの後、令和4年度牛乳大好き！絵画コンクールの表彰式を行いました。会場内には最優秀賞・優秀賞・優良賞を受賞した、子どもたちの心温まる作品合計45点を展示しました。

また、牛乳・乳製品利用料理コンクールの県大会出品作品10点のパネルも展示し、多数の来場者にご覧いただきました。

毎回好評の「親子バター作り体験」



主催者の挨拶

「親子バター作りではたくさんのお子さんの親子がバター作りを楽しんでいました。青年部は「大型トラクター記念撮影」や「ロールにおえかき」のほか

「出前酪農講座」を開催し、参加者は酪農の仕事の内容や乳牛の説明を熱心に聞いておられました。会場内では酪農に関する問題を解きながら廻る「らくのうクイズラリー」や酪農の現状を周知する「らくのうのいま」など皆さんに楽しんでいただけるコーナーを設けました。

コロナ禍での開催となったため、女性部は牛乳料理の試食・販売は中止しましたが、「牛乳パック工作とぬりえ」で風車やフリスビー・こまを作り、子どもたちで賑わっていました。

酪農乳業協会の乳業メーカーのほか、6次化産業に取り組む組合員の方々も出店され、主力商品のPRと牛乳・乳製品を販売していただき完売となる大盛況でした。

ステージでは子どもたちに大人気の「それいけ！アンパンマンショー」が行われ、ステージの前は身動きが取れないほどでした。

岡山県厚生連による「骨密度測定」及び岡山県栄養士会による「栄養相談」も行われ、多くの方に牛乳の大切さをPRしていただきました。



一日ではありましたが、牛乳に関わる人たちが一丸となって、牛乳・乳製品の消費拡大、酪農業の理解醸成に貢献できたのではないかと思います。

来場者から「楽しかった」と喜ん



でただけて嬉しかったです。最後にありがとうございました。皆様方に心より感謝とお礼を申し上げます。

（事務局）



令和4年度下期乳用牛体格審査報告

令和4年度下期牛群審査および後代検定娘牛にかかわる体型調査が令和4年11月15日から21日にかけて、(一社)日本ホルスタイン登録協会、高橋貞光審査員により実施されました。

今回の審査では、ホルスタイン種 5戸、135頭(うち奨励審査3頭)。ジャージー種 1戸、11頭。体型調査 14戸、材料牛20頭、同期牛51頭。搾乳ロボット適合性調査 1戸、16頭。合計 233頭の審査を行いました。

その中でも、岡山市 妹尾優佳さん所有、ヒールクレスト スパークリング ロイ号(平成28年9月20日生、4産)が91点(EX-2E)を、真庭市(有)長恒牧場所有、ロンゲスト ヘンドリカアレキサンダー Aフタゴ(平成25年5月2日生、7産)号が91点(EX-2E)

を、真庭市(有)長恒牧場所有、ロンゲスト ヘンドリカアレキサンダー Aフタゴ(平成25年5月2日生、7産)号が91点(EX-2E)



ヒールクレスト スパークリング ロイ号(妹尾優佳)

を獲得されました。なお、90点以上獲得牛が9頭(ホルスタイン)となっております。今回の審査および調査にご協力いただいた組合員の皆様、大変ありがとうございました。次回審査の際もよろしくお願いいたします。

(生産支援課)

令和4年度下期牛群審査成績高得点牛

ホルスタイン種					
市町村	所有者氏名	名	号	年齢	決定得点
岡山市	妹尾優佳	ヒールクレスト	クリーム フラワー	4-03	91
岡山市	妹尾優佳	ヒールクレスト	スパークリング ロイ	6-02	91(EX-2E)
岡山市	妹尾優佳	ヒールクレスト	ゲイン ツーマー	6-08	91
笠岡市	株Farm Luckyhon	ラツキーホン	サニーロツジ ドアマン スープレックス	7-04	91
真庭市	(有)長恒牧場	ロンゲスト	ヘンドリカ アレキサンダー A フタゴ	9-06	91(EX-2E)
岡山市	妹尾優佳	ヒールクレスト	ジヨイジヨイ アスカ フタゴ	4-07	90
笠岡市	株Farm Luckyhon	ラツキーホン	クレイグ ドアマン ルビナ	4-09	90
津山市	吉原直樹	グランデイル	キキイツパツ アニー	5-01	90
岡山市	妹尾優佳	ヒールクレスト	ダイヤモンドバック ケイ B フタゴ	5-07	90
岡山市	妹尾優佳	ヒールクレスト	ビューティー RRR	4-04	89
笠岡市	株Farm Luckyhon	エクセルシア	アイランド D7 クラリス ET	4-04	89
岡山市	妹尾優佳	ヒールクレスト	ジヨイジヨイ チャゲ フタゴ	4-07	89
岡山市	妹尾優佳	ヒールクレスト	ボルブロ ET	4-09	89
岡山市	妹尾優佳	ヒールクレスト	クラツシユ シーク	5-00	89
真庭市	(公財)中国四国酪農大	カヤベ	ケネデイ デンプシー テト	5-05	89
真庭市	(公財)中国四国酪農大	カヤベ	セイエラ DB テラ	6-00	89
岡山市	有安力	ALICE	ドロシー クローバー	6-06	89
ジャージー種					
市町村	所有者氏名	名	号	年齢	決定得点
真庭市	(公財)中国四国酪農大第2牧場	カヤベ	エリザベータ プリメロ レーチエ	5-02	89

初産で84点					
市町村	所有者氏名	名	号	年齢	決定得点
岡山市	妹尾優佳	ヒールクレスト	デーブ スター	2-01	84
笠岡市	株Farm Luckyhon	ラツキーホン	ジーンルー ユニクス アレク	2-02	84
真庭市	(公財)中国四国酪農大第2牧場	カヤベ	マツクストン ジエイミー リコ	2-03	84
岡山市	妹尾優佳	ヒールクレスト	ロートラスト レイ	2-03	84
津山市	吉原直樹	グランデール	スター ABSデンバー サツチヤン	2-03	84
岡山市	妹尾優佳	ヒールクレスト	カープ ストーム	2-06	84
津山市	吉原直樹	グランデール	パンイチオーサム ヒルネボウ ET	2-07	84
真庭市	(有)長恒牧場	ロンゲスト	GD シルバー リツキー	2-09	84

第27回酪友フォーラム

11月24日、西日本酪農青年女性会議主催による「第27回酪友フォーラム」が姫路キャッスルグランヴィリオホテル（兵庫県姫路市）において3年ぶりに開催されました。

今回のフォーラムは、全酪連総合企画室 丹戸室長による「ヨーロッパ酪農から学ぶこと〜どうして、欧州は労働生産性が高いのか?〜」、全酪連近畿事務所 下田事務所長に



講演会のようす

よる「持続可能な酪農経営を目指して」日々の飼養管理で押さえておきたい重要ポイント」の2部講演会が行われました。

まず第1部の「ヨーロッパ酪農から学ぶこと」では、オランダ酪農の「あたりまえ」として、①妻は酪農をしない、②200頭位なら1人で作業をこなす、③1週間の連続した休みを年2回、との内容に「羨ましい」の声が聞かれました。なぜ、このようなことが可能なのかというと、夫婦で同じ仕事をするのはリスクがあるという考えがあること、搾乳ロボットの普及率が高いこと（農業機械・器具の購入に対する補助金はない）、コントラクターが約3,000社あり、作業の外部化が進んでいること、作業の単純化、地域平準化が進んでいて誰でも作業ができ、ヘルパーやコントラクターに任せやすいことなどがあげられました。技術の「高度化」だけでなく、「単純化・地域平準化」を目指した「差し引ける技術」もあるのではないかと、酪農経営の持続性には「労働生産性」を支える体制が必要であると話をされました。

第2部の「持続可能な酪農経営を目指す」では、一般家計で考えら



抽選会、何が当たるかな?!

れる節約術10選を酪農経営に当てはめ、飼養管理・経営管理について考えてみる、といった内容でした。厳しい状況でも持続できるように、見つけ直して今後に生かすことが大事であると話をされました。

研修会後の懇親会では、恒例の各県より持ち寄った賞品の抽選会も行われ、大いに盛り上がりました。厳しい状況下ではありますが、久しぶりに他県酪友と交流ができ、話に花が咲きました。

(生産支援課)

「ふるさと納税」で 酪農家を応援しよう！ 返礼品に牛乳・乳製品を！！

～飼料高騰で厳しい生産現場～



新型コロナ禍・ウクライナ情勢の影響に対する支援

新型コロナ禍による牛乳・乳製品の需給緩和、ウクライナ侵攻等の影響で生産コストが高騰しており、全国の酪農経営が危機的な状況にあります。

「ふるさと納税」により、自治体に寄付し、返礼品に牛乳・乳製品を選ぶことで、酪農家に対して支援することが出来ます。全国酪農協会では、会員団体等のご協力のもとウェブサイトにて情報提供しております。右記リンクより参照のうえ、ご協力頂きたくよろしくお願い致します。



一般社団法人 全国酪農協会

2022.12月号 組合だより おからく 8

代用初乳について②

全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 中四国事務所 大田 篤志

○はじめに

今年も残すところあとわずかになりました。ますます寒さも増してきましたので、どうぞご自愛ください。

今月は、最新の研究データに基づき開発された代用初乳製品『エクセレントスタート』の紹介をしたいと思います。

○新たな免疫移行基準について

新製品『エクセレントスタート』はこれまでにない新たな免疫移行基準に基づき開発された製品です。

これまでの免疫移行基準は「生後24時間後の血清中免疫グロブリンG (IgG) 濃度が10 g / ℓ以上」というものでした。この基準は1990年代より普及し、子牛の事故率(死亡率)低減に大きく貢献しました。一方、子牛の疾病率(罹患率)は余り変化していないことから、疾病率の改善が課題となっていました。

2020年、米国農務省(USDA)や米国の研究者が中心となった研究において新たな免疫移行基準が示されました。そこでは、生後24時間後の血清中IgG濃度がExcellent (25.0 g / ℓ以上)、Good (18.0~24.9 g / ℓ)、Fair (10.0~17.9 g / ℓ)、Poor (10.0 g / ℓ未満)の4段階とされ、疾病率(罹患率)を大きく低下させるにはExcellentレベルの免疫移行が必要とされました。(図1参照)

	血清IgG濃度 (g / ℓ)		血清IgG濃度 (g / ℓ)	
基準値 以上	10.0以上	➔	Excellent	25.0以上
			Good	18.0~24.9
Fair	10.0~17.9			
Poor	10.0未満			
基準値 未満	10.0未満			

図1 旧基準と新基準の比較表

新基準と事故率の関係では、FairとPoorの子牛は生後60日以内での事故率が高く、事故率を最小にするにはGood以上とすることが求められています。新基準と疾病率の関係では、一度も疾病に罹患していない子牛の割合がPoorでは約55%、Good~Fair間では約65%、Excellentでは約75%と言及されています。つまり、疾病率を最小にするにはExcellentレベルが必要であることがわかります。

○新製品『エクセレントスタート』でExcellentレベルへ

Excellentレベルの達成には300 gのIgG給与が必要とされますが(体重42kgの場合)、従来の代用初乳製品での達成は難しい場合が出てくるかもしれません。

全酪連の新製品『エクセレントスタート』には100 g / 袋のIgGが含まれているため、3袋の給与で300 gのIgGを給与することができます。Excellentレベルを達成することにより、事故率・疾病率の低下、将来の生産性の増加が期待できます。

また、和牛やジャージー牛への給与も推奨できます。体格が小さく一度に初乳の量を飲めない場合があっても、『エクセレントスタート』ならば必要なIgGを摂取しやすくなります。

より生産性を上げたい、子牛の管理で問題を抱えているといった方は、エクセレントスタートをぜひお試してください。何かご不明な点などございましたら、お近くの全酪連スタッフにお問い合わせください。

参考文献

Lombard et al., 2020. Consensus recommendations on calf-and herd-level passive immunity in dairy calves in the United States. J. Dairy Sci. 103: 7611-7624.

ゲノミック検査の効果—牛群はどれくらい変わる?—

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

○はじめに

ホルスタイン種のゲノミック評価は2009年にアメリカで本格導入され、日本では2013年から雌牛の検査受付が始まり、昨年の検査申込頭数は全国で約2万3千頭に達しています。当研究所でも、供卵牛群の改良を進めるべく、ゲノミック検査に取り組んでいます。今回、その取り組みの中で見られたゲノミック検査の効果を紹介します。

○ゲノミック検査の効果は未経産牛で発揮

ゲノミック検査を用いた評価とこれまでの育種価評価(EBVやPA)の違いは何でしょうか。最も異なる違いの一つは、見た目は同じに見える牛の中身(能力)がわかる点です。

これは、育種価評価が本牛の産乳成績をもとに能力を評価している(すなわち経産牛にならないとある程度の正確な数値がわからない)のに対し、ゲノミック評価は本牛のゲノム情報を加えて能力を評価しているためです。

図1は当研究所で、ほぼ同時期に生まれた同じ掛け合わせのET産子

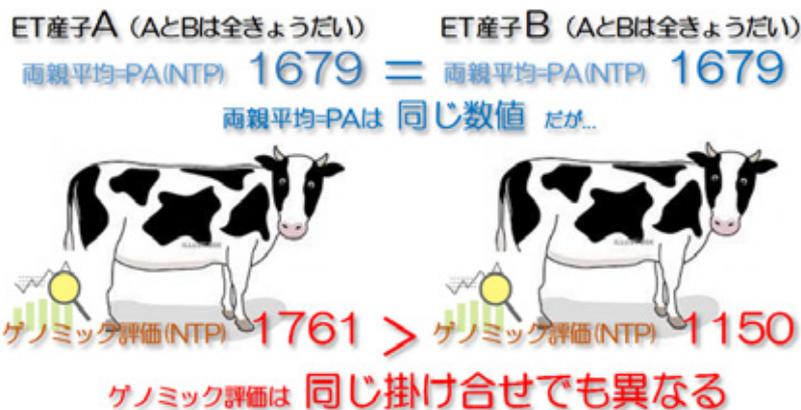


図1 PAとゲノミック評価値の比較

具体的に説明すると、これまでの育種価評価では、未経産の頃にPA(ペアレンツアベレージ・両親平均値)という評価法を使用していました。この評価は単純に母と父の育種価同士の平均値であり、同じ掛け合わせの子牛(全きょうだい)は全て同じ値になります。ところが、ゲノミック検査ではPAに加え、ゲノム

情報を解析するため、同じ掛け合わせの子牛でも、異なる値になります。人間でも一卵性双生子でもない限り、DNAまでは同じにならないです。よね。

これによって、今までは搾ってみるまで分からなかった評価が未経産の頃に分かり、より早い段階で後継牛候補が選抜できるようになります。

○信頼度の上昇

先ほど未経産の頃に、その牛の評価がわかると述べましたが、その数値は一体どのくらい信頼できるものでしょうか。数値をどのくらい信じてよいかを表す信頼度というものがあります。

図2に国内検査における信頼度の比較を示しました。

従来の育種価評価(PA・EBV)では、未経産の頃(PA)では約30程度で始まり、搾乳して検定成績(EBV)が出ると約60まで上昇しますが、ゲノミック検査では、未経産の時点(GPI)ですでに約50と格段に信頼度が上がることがわかってきます。

これらのことから、未経産の頃から能力評価ができ、その信頼度も高

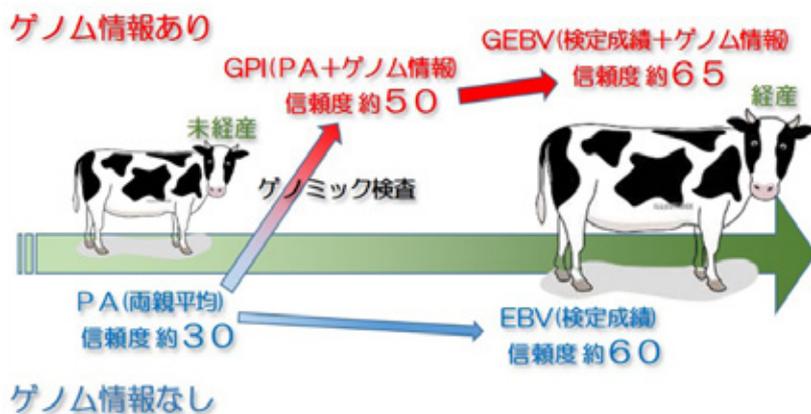


図2 それぞれの信頼度(国内)

いことがわかります。

○値の意味

効果の話とは少し離れますが、ゲノミック検査の評価値の意味について、面白い報告がありましたので紹介します。

それは、「ゲノム乳量1000の差は初産乳量で1日当り0.4kgの差がある」というものです。

当研究所のゲノミック検査を受けた牛で、同じ掛け合わせのET産子を調べてみたところ、ゲノム乳量の

差が最も大きかったものは765でした。これを先程の報告に当てはめると、1日3・06kg、1乳期305日として計算すると933kgもの差となります。(図3)

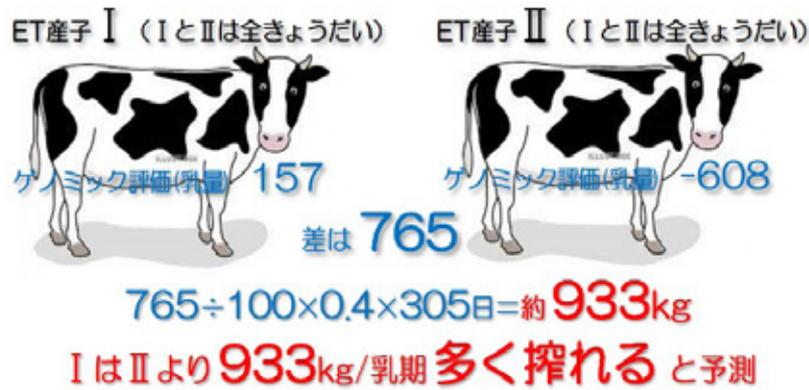
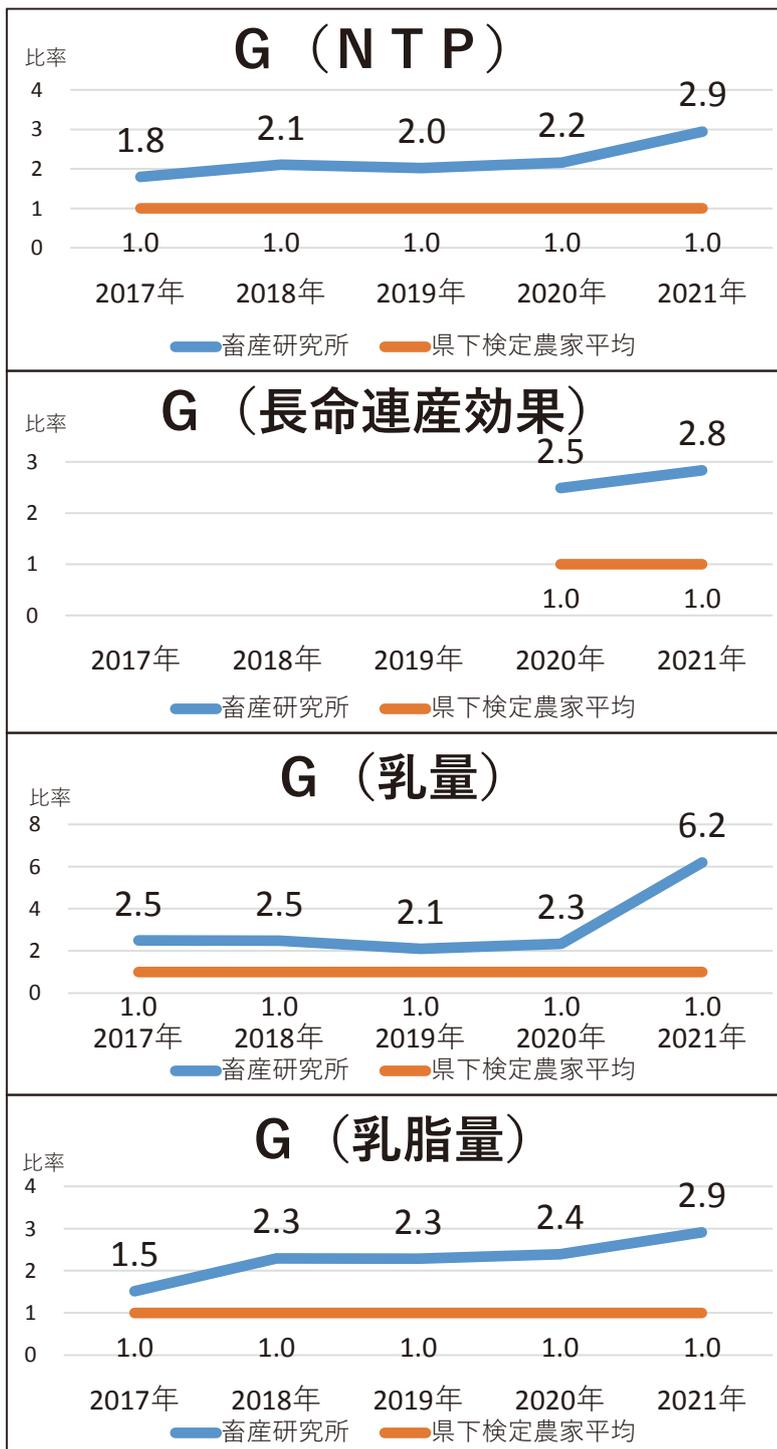


図3 ゲノミック評価値(乳量)の意味

○当研究所の供卵牛群はどれくらい変わったのか

当研究所では、2015年に数頭からゲノミック検査を始め、現在は全頭検査を行っており、主に乳量と長命連産効果を後継牛作出の指標に利用しています。



グラフは県下平均を1とした時の研究所の未經産牛群の評価値の推移です。

グラフからも分かるとおり、検査導入当初はNTP、乳脂量とも県下平均と同程度であったの対し、ゲノミック検査を取り入れることで、年々順調に改良が進んでいることがわかります。

具体的な方法を紹介すると、評価の低かった個体は借り腹移植するなどし、後継牛作出対象からは除外して全体平均の底上げを図りました。

○最後に

飼料高騰・F1価格の下落など、

また、評価が高い牛は、未經産時から積極的に採卵し、改良スピードを高め、さらに生まれたET産子もゲノミック検査による選抜を繰り返しました。

これまでの育種評価では2産頃までは難しかった精度の高い後継牛選びが未經産の頃からできるようになったことで、取り組みを始めて短期間のうちに牛群を改良することができたと感じています。

酪農業界は今、非常に厳しい情勢が続いています。しかし、必ずいつか揺り戻す日が来るとも思っています。それまでに1頭でもより良い牛へ改良していく方法として、ゲノミック検査の効果をご紹介します。

おからくへの申請(令和5年1月末までに検体提出)により2分の1補助枠もありますので、補助制度をうまく利用しながら、ゲノミック検査の利用をご検討ください。

令和4年度「中国地区牛乳・乳製品料理コンクール」乳製品料理コンクール開催

11月19日「中国地区牛乳・乳製品料理コンクール（中国生乳販売農業協同組合連合会主催）」が岡山市南区浦安本町の（公財）岡山県学校給食会で開催されました。

応募作品総数は、1,240点（岡山県は559点）で各県の牛乳普及協会、酪農乳業協会より推薦を受けた方9名が1時間の制限時間の中で牛乳・乳製品を生かした自慢の料理を競い合いました。

最優秀の農林水産省中四国農政局長賞には、広島県代表の原涼歩さん（広島県立宮島工業高等学校）の「おいしくSDGs！クリーム巻き巻き〜広島牡蠣to彩りカレー〜」が選ばれました。

また、優秀賞の中国生乳販売農業協同組合連合会会長賞には、岡山県代表の福田眞子さん（岡山県立総社高等学校）の「カルボナーラ風濃厚雲ドリア」と鳥根県代表の伊藤悦子さん（松江栄養調理製菓専門学校）の「カルシウムたっぷり焼きおにぎり」が選ばれました。昨年に続き岡山県代表が上位入賞されました。

高校生等が一生懸命に取り組んで作る料理は毎回感動します。組合だよりに最優秀賞のレシピを紹介させていただきますので、皆さんもぜひ

参考にご覧いただき、作っていただきたいと思えます。

入賞者

最優秀賞

（農林水産省中四国農政局長賞）

・原 涼歩（広島県・高校生）

おいしくSDGs！

クリーム巻き巻き

〜広島牡蠣to彩りカレー〜

優秀賞

（中国生乳販売

農業協同組合連合会会長賞）

・福田 眞子（岡山県・高校生）

カルボナーラ風濃厚雲ドリア

・伊藤 悦子（鳥根県・専門学校生）

カルシウムたっぷり

焼きおにぎり

（生乳課）



最優秀賞の「おいしくSDGs！
クリーム巻き巻き
〜広島牡蠣to彩りカレー〜」

レシピ紹介

★材料（4人分）

- 牛乳……………200ml
- バター……………20g
- 春巻きの皮……………8枚
- 米粉……………大さじ1
……………小さじ1
- サラダ菜……………8枚
- 揚げ油……………適量
- A 広島牡蠣ドリア
 - 牡蠣のしぐれ煮……………8個
 - ごはん……………100g
 - エリンギ……………50g
 - 舞茸……………50g
 - カボチャ……………50g
 - しぐれ煮の煮汁……………大さじ1
- B 彩りカレードリア
 - カレーパウダー……………小さじ2
 - ごはん……………100g
 - オクラ……………4本
 - 人参……………30g
 - スライスチーズ……………4枚

★作り方

- ①フライパンに米粉と牛乳を入れて泡立て器でよく混ぜてから弱火で加熱し、とろみが出たら火を止め、ホワイトソースを作り、2等分に分ける。
- 【A 広島牡蠣ドリア】
 - ①舞茸は8等分・エリンギは1cm角に切る。
 - ②カボチャは1cm角に切った後、レンジで2分間加熱する。
 - ③フライパンにバターを入れ①を混ぜる。
 - ④ホワイトソースに牡蠣のしぐれ煮の煮汁を混ぜ、ごはんを②③を混ぜる。
 - ⑤春巻きの皮に④と牡蠣のしぐれ煮をのせ巻く。
- 【B 彩りカレードリア】
 - ①オクラはヘタを取り、人参は薄くスライスする。耐熱ボウルに入れレンジで2分間加熱する。
 - ②ホワイトソースにカレーパウダーを混ぜ、ごはんを加える。
 - ③春巻きの皮に②をのせ広げスライスチーズをおく。オクラを人参で包んで中央において皮を巻く。
- 【A】・【B】を180℃の油で揚げ、斜めに切り盛り付けて終了。

議員懇談会開催報告

10月27日、津山鶴山ホテルにて、議員懇談会を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から、過去2年間は要請書の提出にとどまっていたが、今回3年ぶりの開催となりました。

県議会議員の市村仁氏、山本雅彦氏そして本山絃司氏にご臨席いただきました。また、おからくからは長恒組合長と檜尾専務を始め、酪政連美作支部の小村委員長や委員、会員あわせて14名の参加となりました。

村岡副委員長が要請書を読み上げた後、意見交換となりました。飼料高騰についてはもちろんのこと、後継者支援、自給飼料の広域流通、水田交付金、肥料高騰対策、副産物価格の下落等、話題は多岐にわたり、また、県議会議員の方からも、現在利用できる支援について、ご説明いただくなど、予定時間を大幅に超えての懇談会となりました。その後、

矢谷副委員長の挨拶により、閉会となりましたが、閉会後の会食の席でも、活発な意見交換が行われ、大変充実したものとなりました。

今回は、過去の懇談会とは大幅に時間帯を変更しての開催となりました。このことは、一人でも多くの会員の方へ参加してもらいたいという小村委員長を始めとする、委員の意向によるものでした。初めての取り組みでもあり、また、まだまだ忙しい時期ではありましたが、多くの会員の方に参加いただけたことに感謝しますとともに、ご多忙にもかかわらず、ご出席いただきました県議会議員の方にも、この場をお借りし感謝申し上げます。 (岡山県酪農政治連盟美作支部)

ご協力とお願い

日頃より組合業務につきまして、格別のご理解とご協力をいただきお礼申し上げます。

年末年始の業務は、12月30日(金)から1月3日(火)まで休業とさせていただきます。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

ただし、緊急の場合には連絡表によりお願いいたします。

県南フレッシュミズ交流会

11月9日、3年ぶりとなる県南フレッシュミズ交流会を開催しました。

交流会(食事会)のみでなく、せっかくなので研修会も行いたいという意見も多く、前回(ヤクルト工場視察)に続き、今回は、生乳検査センターと鏡野CSで視察研修を行いました。

乳質検査がどのように行われているのか、また、生乳の受入・送乳について等、興味がある方も多いのではないのでしょうか？

まず最初に、検査センターを訪問し、小田所長から、生乳検査業務や測定機器の精度管理について説明を受けた後、実際に検査機器を稼働させ、検査業務を見学しました。



鏡野CSで熱心に話を聞いています



生乳検査センターの前で

その後、鏡野CSへ行き、生乳の受入・送乳や検査についての説明を受け、施設内を見学してまわりました。

参加者の方々は、日頃気になっていたことについて質問されたり、熱心に話を聞かれていました。視察後は、近くの焼肉屋さんで、おいしいお肉をいただきながら交流を行い、皆さんの会話が弾んでいました。

ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

今後、コロナの状況を見ながらではありますが、活動を続けていきたいと思っています。

(南支所)

元気を分かち合う

11月21日、美作酪農女性部の研修会が行われました。3年ぶりの開催とあって、津山・勝英地区から22名、蒜山地区から9名、合わせて31名が参加されました。



勉強会風景

全酪連大阪支所の松崎氏にご講演いただき、子牛についての勉強会を行いました。勉強会を終え、部員の方たちは「子牛管理は基本中の基本だけど、何年もやっているとそこが疎かになりがち。今一度、基本に立ち返ってやるのが大事だ」とおっしゃっていました。

講演会の後、レストランで交流会を行いました。美味しいお料理に舌鼓をうちつつ、久しぶりの会合とあって、どのテーブルでも会話に花が咲いていました。

会の最後で副部長から「長く続く厳しい状況にやる気を失いかけていましたけど、今日、皆さんと話せたおかげで『しんどいのは私だけじゃないんだ、みんな頑張ってるんだ』と思えて、元気をもらうことができました」と挨拶がありました。この研修会が、とても有意義な会であったと感じられる言葉でした。きっと皆さんも同じ想いだったことと思います。やはり人と会って話すことは、本当に大切なことだとつくづく感じました。

3年ぶりの研修会は、無事に終了となりました。次回開催できた暁には、ぜひとも従来のバイキングランチで楽しみたいですね。皆様、ありがとうございました。

(津山支所)

ひろば

勝央町で

地産地消カフェ

津山支所(勝英)

勝央町にこの夏、新たなカフェがオープンしました。その名は「CAFÉ 136」。授精師・板坂義昭さんの娘さんが営んでいます。ログハウス調のお店で、室内だけでなく、天気の良い日はお庭やテラス席でもお食事が楽しめます。

カフェの目玉は自家製のハンバーガーと季節のスイーツです。ハンバーガーは、いたさか牧場で育てられた黒毛和牛100%のビーフパテと自家製のお米で作った米パンズを使用。季節のスイーツは、旬の果物を近所の農家さんから仕入れて作られています(パフェが人気ですが、現在はおやすみ中)。お邪魔させていただいた時には、しっとり甘いさつまいものカップケーキをいただきました！

将来的には勝央町で搾られた生乳を使用し



た新メニューにチャレンジしたいとおっしゃっていました。地元でとれた食材が、地元で皆さんに楽しまれる、まさに地産地消です。勝央町産の食材たちがこれからどんなお料理として登場するのか、とても楽しみです。

営業は木・金曜の11時～15時、土・日曜の11時～16時。以前は予約制でしたが、今は予約なしでも来店可能です。

文字だけでは魅力が伝わらないので、お店のインスタグラムをぜひチェックしてみてください。

勝田郡勝央町美野136
☎080-1570-2170



理事 会 報 告

令和4年10月31日、第264回理事会を理事11名、監事3名が出席し、開催した。

長恒組合長より酪農一般情勢等について報告された。

その後、次の事項を協議し、決定した。

○令和4年度生乳需給安定化対策について

令和4年度9月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○上期決算について
令和4年度上期決算は事業利益で

は24,265千円の黒字決算となりましたが、酪農経営緊急支援対策を行ったため経常利益は、137,826千円の赤字となりました。

○出資減口の申し込みについて

酪農中止者による減資申し込みが1件あり、やむなく1件の出資減口の申し込みを承認した。

○経理規程の一部変更について

令和4年度の税制改正による、経理規程の一部変更について協議し、承認した。

○高梁大池山育成牧場利用組合からの要望について

高梁大池山育成牧場利用組合からの運営支援要望について協議し、支援することを承認した。

○資産査定事務要領の一部変更について

資産査定事務要領及び職制規定で定めている資産査定の実施部署の整合性を図るため要領の一部変更について協議し、承認した。

○ストックポイント運営管理規定の一部変更について

飼料ストックポイント運営管理規定の安全管理の一部変更について協議し、承認した。

○全戸巡回意見取りまとめ

全戸巡回意見について確認し、専門委員会と協議し、次回の理事会で回答を協議することを承認した。

○酪農窮状における資金支援対策について

酪農窮状における資金支援対策内容について協議し、支援することを承認した。

○需要調整セットの組合員等への配布について

年末の乳製品在庫の低減に協力す

るため需要調整セットの組合員等への配布について協議し、承認した。

○酪農業賠償責任保険について
保険期間の満了に伴い、継続加入を承認した。

○報告事項

内部監査報告について、実務者会議の報告について、飼料価格高騰緊急対策事業について、肥料高騰対策事業の取りまとめについて、第2四半期苦情等の報告について、令和4年度畜産功労者知事感謝状贈呈について、料理コンクール・絵画コンクールの結果について、全酪冬ギフトの協力について報告した。

乳代精算日のお知らせ

令和5年の乳代精算日を次の通りとさせていただきます。

(総務部総務経理課)

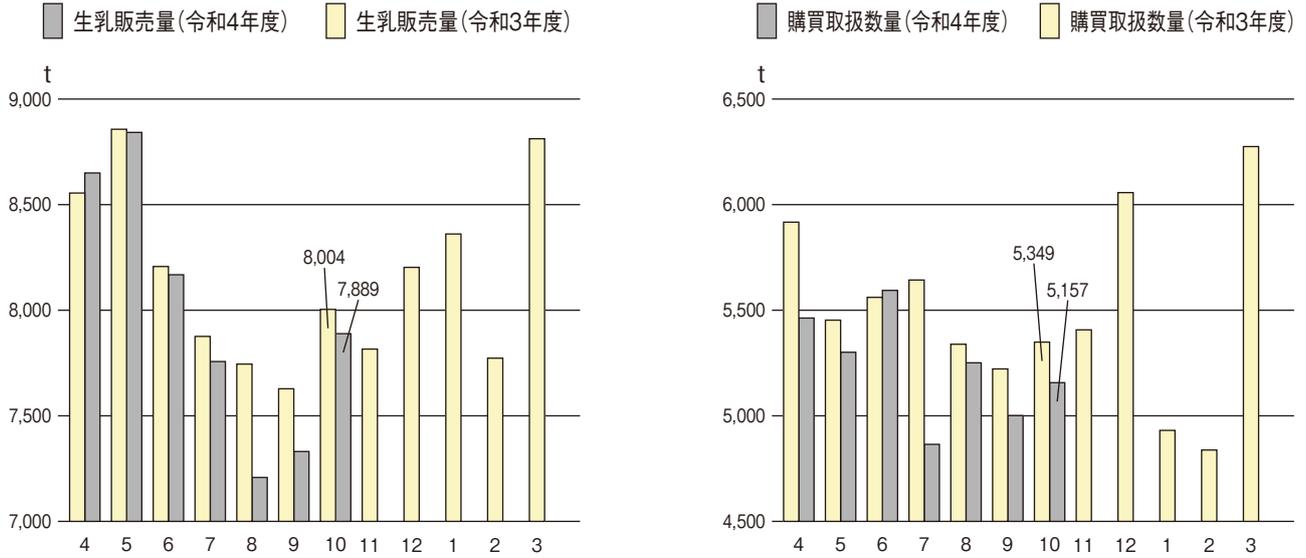
月	乳代精算日
1月分	R 5年 2月20日
2月分	R 5年 3月20日
3月分	R 5年 4月20日
4月分	R 5年 5月22日
5月分	R 5年 6月20日
6月分	R 5年 7月20日
7月分	R 5年 8月21日
8月分	R 5年 9月20日
9月分	R 5年 10月20日
10月分	R 5年 11月20日
11月分	R 5年 12月20日
12月分	R 6年 1月22日

お礼

このたび、津山市 吉原謙一様より見舞返礼金として、勝央町 竹久幹人様より(株)オカラクミート社長退任に伴い、(一財)おからく教育振興会に金一封をご寄付いただきました。

事業主旨に従い、有効に活用させていただきます。
ありがとうございました。

おからく事業実績



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	生産量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)			
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	生産	飲用	乳製品	その他
全国	10	583,141	313,188	122,750	147,203	97.6	97.5	94.9	100.4
	4~10	4,213,630	2,150,181	1,036,295	1,027,148	99.6	98.0	101.1	101.6
岡山県	10	7,876	7,676	118	82	98.4	98.4	104.4	88.2
	4~10	55,735	53,295	1,836	604	98.2	97.7	118.8	88.8
北海道	10	334,331	79,557	112,563	142,211	97.2	95.3	94.5	100.4



12月の主な行事

- 5日 セントラルジャパン
役員会会長・事務局会議
- 13日 中国地区B&Wショウ打合会議
- 20日 おかやまH改良同志会役員会
- 21日 管理職会議
- 22日 インボイス研修会
- 26日 酪農講演会
理事会
- 29日 仕事納め
- 1月**
- 4日 新年互礼会
- 19日 インボイス研修会
- 24日 管理職会議
- 30日 理事会

北海道初妊牛価格

11月については、出回り頭数が年間で最も多い時期の中、生乳生産環境は先行きが見通せず全体的に引き合いは低調で、平均価格は税込44万8千円(前月比7千円安)と保ち合いで推移しました。

12月については、例年であれば春産みの一部出回り始め引き合いが強まる時期となるものの、来年度の生乳減産と年明けの飼料価格等の不安要素が大きいため需要増加は見通し難く、相場は保ち合いで推移することが予想されます。